



## 平成 30 年度 事業計画

創立以来、半世紀を超えた歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り文化の発展に寄与するため、小泉和裕音楽監督のもと、公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行う。

### 1. 演奏事業

#### (1)オーケストラ演奏事業

##### ①定期演奏会 <27回>

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催する。

日本特殊陶業市民会館（4月から11月）及び愛知県芸術劇場コンサートホール（12月から3月）において、「文豪クラシック」シリーズと題し、シェイクスピア、ゲーテなど11人の文豪にちなんだ作品を取り上げる定期演奏会を11回22公演開催する。

日本特殊陶業市民会館では、市民会館名曲シリーズとして、「ベートーヴェン・ツィクルス」を年4回、及び恒例の第九コンサート1回の計5公演開催する。

##### ②巡回演奏会 <9回>

地方自治体等の依頼により市町村において開催する。

##### ③移動音楽鑑賞教室 <32回>

小・中学生を対象に音楽鑑賞教室を開催する。

#### ④特別演奏会 <15回>

東京特別公演を東京オペラシティコンサートホールで開催するほか、傑作をとりあげるしらかわシリーズ、豊田市ジュニアオーケストラと共演する豊田市コンサートホール・シリーズ、愛知県芸術劇場コンサートホールでの第九特別公演、並びに障がいのある方などを対象とした福祉コンサートなどを開催する。また、平成29年度にスタートした平日午後のオーケストラを2回開催する。

#### ⑤依頼演奏会 <27回>

企業・団体等からの依頼により開催する。

合 計 110回

### (2)アンサンブル(小編成)事業等

#### ①サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年12回開催する。

#### ②まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントなどと連携して実施する。

#### ③依頼によるアンサンブル(小編成)演奏

企業や団体等からの依頼による「アンサンブル(小編成)」の演奏活動を実施する。

#### ④公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年12回開催する。

#### ⑤楽団員講師派遣事業

小中学校の授業に楽団員が数名講師として訪問し、演奏とともに音楽の魅力などを伝える。

#### ⑥ロビーコンサート

定期演奏会の開演前に、会場のロビーにおいて開催する。

#### ⑦名フィルの日

ファン感謝デーとして、一日限りのアンサンブルや「キッズ楽器体験コーナー」などを実施する。

## 2. 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者5名、ソリスト7名の招聘を行う。

### ① 指揮者の招聘

『定期演奏会』には、名誉客演指揮者のティエリー・フィッシャー、アントニ・ヴィット他を、『しらかわシリーズ』には、ライナー・ホーネックを招聘する。

### ② ソリストの招聘

世界で活躍中のソリストを招聘し共演することで音楽的刺激を共有し、そこで得られる感性によりさらに一步踏み込んだ音楽作りを目指す。

本年度はピアニストのゲルハルト・オピッツ、チェロ奏者のニコラ・アルトシュテット他を招聘する。

(参考) 音の向上基金の状況

(単位：千円)

28年度末 残高	29年度中の 支出見込	29年度中の 収入見込	29年度末 残高見込
152,113	5,200	20,000	166,913

※29年度中の収入見込み20,000千円は、故阿部孝子様(元中日新聞記者)からのご寄付を積み立てる予定です。

## 3. エール基金事業

楽団員の演奏技術の向上を図るため、楽器の購入資金及びリサイタル活動の必要資金を貸し付ける。

## 4. 名フィル魅力向上事業

- (1) 名古屋城本丸御殿完成を契機とした文化発信事業として、本丸御殿内などでコンサートを開催
- (2) 吹奏楽に取り組む児童・生徒への演奏指導を実施
- (3) 首都圏での認知度向上を図るため、公開演奏会(アンサンブル)を実施
- (4) 海外公演に向けた調査を実施